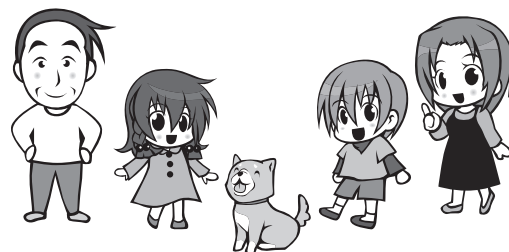


タウンレポート Town Report



ラーメンフェスティバル

12月16日、道の駅はがでラーメンフェスティバルが開催されました。



出店は、町内に店舗を構える「麵屋 一里」と小山市の「中華そば 一楽」、古河市の「麵堂 稲葉」、グルメワールドカップ2012で優勝した「栃木照る照る坊主の会」の4店。1杯一律500円のラーメンは、最終的には1,462杯が販売されました。

野澤元教育長が瑞宝双光章受章



野澤元教育長が瑞宝双光章を受章された。

元町教育長の野澤重雄さんが、平成24年秋の叙勲で瑞宝双光章を受章されました。野澤さんは、昭和35年に当時の祖母井中学校に数学教師として着任し、平成8年3月に市員町立市員中学校長の職を最後に定年退職しました。

▲叙勲祝賀会での野澤さん夫婦

平成12年11月から平成16年10月まで、町教育委員会教育長に任命され、学校教育、社会教育の充実に尽力されました。その後、町社会福祉協議会会長を歴任し、昨年退職されるまで地域福祉の向上にも大きな功績を上げられました。



みまネット報告会



11月16日、町民会館でみまネットの報告会が行われました。

健康福祉課の職員による寸劇を交えて、みまネットのこれまでの活動が報告されました。みまネットは、平成23年5月に発足した「芳賀町見守りネットフック」の略称で、地域住民や事業所などが協力して、高齢者の日常生活を見守り、安心して生活できる環境を作ることを目的としています。

免の内堰で川の迂回作業

11月13日、東水沼の免の内堰で、野元川の迂回作業が行われました。



9月から始まった堰の改修で迂回路が完成し、流れを変更することになりました。そこで生態系を保全することを目的に、堰の周りに取り残された魚などを下流に逃がす作業が行われました。県の職員や土地改良区の関係者、漁業組合員が作業に参加しました。

農業委員会が建議・要望書提出



11月27日、町農業委員会から「芳賀町農業施策・予算に関する建議・要望書」が豊田町長に提出されました。

主な要望内容は、特産品（梨・イチゴ）に対する助成、耕作放棄地解消の支援、担い手・後継者育成の強化・支援です。これらは農業委員の活動で集められた意見や要望を協議し、まとめたものです。

道路愛護コンクール表彰



11月16日、栃木県公館で平成24年度道路愛護作業コンクールの表彰式が行われました。

与能資源保全会が建設・維持部門で最優秀賞を受賞し、稲毛田谷中東地区が道普請事業により優秀賞を受賞しました。フラワー部門では、稲毛田むつみ会が特別賞受賞、ほか9団体が優秀賞受賞となりました。これらの道路は、地域の皆さんの力で使いやくなり、道路沿い花壇の草花が行き交う人や車を運転する人の心を和ませています。

大根収穫祭



11月24日、太陽のめぐみ教室で運営委員（小林宗男代表）の協力のもと、大根の収穫祭を行いました。

子どもたちは、大根の葉っぱを力いっぱい引っ張りました。なかなか抜けませんでした。が、ずっしりと重い大根が抜けると大きな歓声が上がりました。収穫後は、運営委員が作ってくれた大根がたくさん入った温かい豚汁をいただきました。

熱気球インターナショナル チャンピオンシップ



11月21日から25日まで、芳賀町・宇都宮市・茂木町を会場に2012とちぎ熱気球インターナショナルチャンピオンシップが開催され、32機の熱気球が参加しました。町内でも競技が行われ、熱気球がひびりが丘公園から飛び立ち、多くの気球が町の空に浮かびました。

赤羽有紀子選手横浜国際 女子マラソン応援ツアー



▲赤羽有紀子選手応援ツアーの皆さん

11月18日、横浜国際女子マラソンに出場する赤羽有紀子選手を応援するため、後援会で応援ツアーを組み、40人の応援団が現地に駆けつけました。

応援団メンバーは、スタート前の赤羽選手に直接声援を送り、町民から寄贈された「がんばれ 赤羽選手」と書かれたのぼり旗をコース沿いに設置して応援しました。

赤羽選手は、スタート後24km付近からペースが少し遅くなり、総合8位でゴールしました。レース後には、赤羽選手との写真撮影などが行われました。



▲赤羽選手との写真撮影



▲寄贈されたのぼり旗